

洋上風力のゾーニング計画にかかわる今後の課題について

1. 「保全エリア」の設定にあたっての主な課題

「保全エリア」の設定に際しては、詳細な調査分析を実施し、関係部局と十分な協議を行った上で、適切な範囲を「保全エリア」として追加する事を検討する。

表1 保全エリア設定にあたっての課題（案）

課 題	調査方法
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産に係る世界遺産」候補の構成資産にかかわる眺望景観	景観への影響範囲を机上検討、現地調査を実施
重要な漁場	ヒアリング調査を実施
海上交通	海上交通状況を把握するために AIS 情報等の分析、ヒアリングを実施

2. 「候補エリア」の抽出の進め方について

「候補エリア」の抽出に際しては、事業性及び環境配慮に関わる事項等を調査し、大縮尺の図面（1/2.5万～1/5万程度）を用いて、エリアの検討を行う。

表2 陸上風力の候補エリアの抽出に際して実施する調査（案）

区分	調査内容	調査方法
事業性に関する事項	年間平均風速	資料調査(NEDO 洋上風況マップ)
	系統制約	九州電力へのヒアリング
	容量に空きのある送電線からの距離	資料調査
	海底地形	現地調査
環境配慮に関する事項	藻場・干潟・サンゴ礁	資料調査
	教会群及びその構成要素などの「景観資源」、「主要な眺望点」、「眺望点からの景観」に関わる調査	資料調査、現地調査
	主な渡り鳥のルート	現地調査
	海鳥の繁殖地	ヒアリング、資料調査
その他	魚礁の位置	ヒアリング、資料調査
	その他の海面利用	ヒアリング